



凶南雄飛

令和2年(2020年) 第2号

5月22日

発行者 校長 金城 正樹

新入生ガイダンスにあたり校訓の紹介や私からのメッセージです。

と なん ゆ う ひ 校訓『凶南雄飛』とは

中国戦国時代の思想家で道教の始祖の一人とされている莊子(莊周)の著書とされている「莊子逍遙遊」の中で「凶南鵬翼」を持つ巨鳥のことが記されています。凶南鵬翼は大きな事を計画して、それを成し遂げようとすることを表したもので、大きな志のたとえです。「凶南」は南の海に行くことを凶の意味。「鵬」はおおとりの意味)。凶南鵬翼は翼が三千里あり、高度九万里の天空まで雄渾壮大に飛翔するという。校訓「凶南雄飛」は、本校の生徒が凶南鵬翼の勢いで世界へ雄飛・発展し、大きな事業を成し遂げることを願って制定されたものです。

新入生の皆さん、本校での高校生活に対して期待と不安が交錯していると思いますが、次の3つのことを実行して欲しいと思います。

1つ目は、「しっかりと考える」ことです。本校に入学したからには、勉学に励むことは当然のことですが、単なる大学受験のための学習を頑張るのではなく、学ぶことの楽しさ、学ぶことの本質に触れながら、「しっかりと考える」習慣を身につけて欲しいと思います。正解すればよしとするのではなく、常になぜそうなるのかを問い、その原理や背景が理解できるまで考え抜いてください。高校時代に学ぶ姿勢を培うことが、生涯学習の礎になり、将来、大きな財産になります。皆さんの将来には、模範解答のない、あるいは正解のない課題を解決しなければならない時代がやって来ると言われています。そのような困難な状況でも柔軟に対応できるようになるためには、常にしっかりと考え、学び続けることが大切になります。

2つ目は、「積極的にチャレンジする」ことです。本校では21世紀をリードするグローバルな高い志を持つ人材を育成するために、多彩なプログラムを用意しています。(今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、例年通り実施できない場合もあります。)学習活動はもとより、学校行事や生徒会活動、部活動、海外研修、国際交流などに積極的に参加し、自分自身の可能性を自分自身で広げて行って欲しいと思います。失敗を恐れず、新たなことにも前向きに取り組むことで世界が広がります。高い目標に「チャレンジする」ことを大いに期待します。

3つ目は、「志を高く持ち努力する」ことです。若い皆さんは無数の可能性を秘めています。また、本校には県内各地から優秀な生徒が集まっていますので、お互いに刺激を受け、切磋琢磨しながら成長することを期待します。高校3年間で将来の夢や働きたい分野などを具体的に固めてほしいと思います。安易な道を選択することなく、自分の未来を切り拓くためにも、世界にも目を開き、志高く大きな夢を描いてください。そして、その実現に向け、具体的な目標を設定し計画的に取り組むことが大切です。本校での成績、席次に一喜一憂せず、コツコツと地道に努力を継続することによって、夢は現実のものとなります。